

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 344. 2010. 5. 30.

予算委員会で求めました

子宮頸がんは予防する時代！

ワクチンの公費助成一日も早く

共産党区議団は、3月予算委員会で品川区でも無料接種を実施してほしいと求めました。区は「慎重に対応する必要がある」と答弁。その後、新日本婦人の会が、「子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願」に取り組んでいます。一日も早い実現のため、願いを集めましょう。

6年前から100カ国を超える国で予防ワクチンが承認され、先進30カ国では公費による接種が広がっています。

いて発症率が一番高いがんで、年間1万5千人が発症、約三千五百人が命を落としています。このがんは99%が、ヒト・パピローマウイルス（HPV）の感染が原因ですが、ワクチンで予防できる唯一のがんです。



子宮頸がんは、日本の20歳代の女性では乳がんを抜

HPVはごくありふれたウイルスで、セックス経験のある女性の80%は、一度このウイルスに感染しますが、感染しても90%は免疫力によって自然消滅し、ごく一部が持続感染をおこし、更に一部ががんになる可能性があります。感染からがんになるまで5〜10年。ワクチン接種プラス定期健診と言ふ二重の構えで、100%予防できるのです。

**予防できる唯一のがん
ワクチンと検診でほぼ100%予防できる**

子宮の入り口にできる子宮頸がん。日本では、20〜30代の女性に急増しています。昨年未ワクチンが承認され、公費での接種を実現してほしいの声が届き、議会で求めました。実現のため署名にご協力を。



日本でも自治体が次々公費助成開始

新潟県魚沼市	小学6年または中学1年を対象に全額補助
埼玉県志木市	小学6年～中学3年を対象に全額補助
兵庫県明石市	小学6年～中学3年で希望者全員に全額補助
東京都杉並区	新中学女生徒（12から3歳）対象に全額助成

少女たちへの ワクチン接種と 教育が予防の力

ワクチンは将来、感染してくるウイルスを免疫の力でブロックする感染予防が目的で、感染してしまつたウイルスに対しては効きません。感染する前、つまり性行動が始まる前の接種が必要です。日本産婦人科学会などの専門家会議は11〜14歳での公費接種を推奨しています。

健康は一人ひとりの基本的人権です。すべての女性は自分の人生と健康を自己決定してゆく権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）を持っています。少女がワクチンを接種する場合は、その意味をご両親と少女自身が理解することが大切です。小学生、中学生、高校生それぞれの年代や理解力にあつた説明の方法があり、正しいことを知つて予防意識を持つことが大事だし、正しい知識を持つ権利が子どもにはあります。性犯罪や、健康を守る正しい知識を持たないために、自己決定の力を持てずに性行動をし、中絶を繰り返したり、性感染し将来不妊となる少女も少なくありません。学校での性教育の改善

が必要ですが、お母さんお父さんが一緒に学び、子どもたちに教える大切さを感じます。

「高校3年生で、4、5割大学生で8、9割がセックス経験」など性行動が早くなっています。ワクチン接種と検診の二重の構えで命を守りましょう。

ワクチンは、上腕部の筋肉注射で半年間に3回接種が必要ですが、現在は自費のため3回で4〜6万円かかります。国と自治体による公費負担実現させましょう。（資料は新婦人新聞より）
署名用紙は事務所にあります。認可保育園増設を求める署名もよろしく。

リサイクルで環境にやさしい生活を！

恒例バザーにご協力をお願いします

6月6日（日）午前10時～午後2時

いいぬま稚子事務所にて

雨天は13日に延期します

（小山2-16-1 後地シルバーセンター・児童センター近く）

雑貨、衣類（夏物）、食器、くつ、バック、おもちゃなど、ご家庭で眠っている品物がございましたら、ご寄贈ください。事務所にご連絡いただけましたら、うかがいます。電気・ガス器具はお断りしています。

主催

日本共産党いいぬま稚子事務所

電話 3787-5425

無料法律相談は、6月18日（金）午後6時から8時です。弁護士が対応します。混み合う時がありますので事前に予約をしてください。